

～秋の夜長の生演奏～名月と名曲の夕べ

令和元年 10月4日（金）19:00～20:00 琉大病院2階外来ホール



福治 友英 理事・副学長
挨拶

はいさい、ぐす～よ～
ちゅ～うがなびら
司会・進行の我那覇と申します。ご来場をいただき誠にありがとうございます。琉球大学職員によるコンサート開催は、メンバーの入れ替えなどありますが、今回で7回目を迎えました。今日は従来のメンバーにチェロを加えました。どうぞお楽しみください。



司会：我那覇 生治

理事・副学長の福治と申し上げます。このコンサートは琉球大学事務職員有志によるもので、年2回開催をしており、間に休みがあったものの本年度で9年目を迎えます。メンバーはこの大学や病院からの糧を得て生活をしているので、そのお返しとして入院患者様やそのご家族のためにと感謝の気持ちでコンサートをさせていただいています。また、準備も全て職員の手作りです。どうぞお楽しみください。

この場を借りて、琉球大学結転生（ゆいまー）基金についてご説明させていただきます。沖縄県においては、シングルマザーの世帯率が全国1位で、また200万円未満の年収の世帯が76.5%となっており、全国平均の64%と比べて家計は厳しい状況となっています。このことが子どもの貧困率29.9%となり、他県の2倍の状況となっています。子どもの貧困について、我々琉球大学は微力ながら、どうにか挑戦をしようと考え結転生（ゆいまー）基金をつくらせていただきました。この基金によって、シングルマザーの方をちゃんと週40時間フルタイム（賞与、種々の手当あり）で、琉球大学職員宿舎へ入居できる制度を設けました。現在この病院で1の方が働いています。この基金の状況によっては、シングルマザーを雇用する人数が増えますので皆さまに基金のご協力とご支援をお願いいたします。

「ゆいまー」とは、結転生という言葉に当て字にしました。この制度で支援を受けた子どもたちの学力格差、経済格差が解消され、この子どもたちが琉球大学に入学して将来その子どもたちが寄附をしていただきますと、結い（つむぎ）がマールマールして廻っていくということで、結転生という言葉を使わせていただきました。これは、その子どもたちに対する寄附ではなく、将来の人材に対する投資という考え方をお願いをしたいと思います。クレジットでの決済でも寄附ができるようになっております。寄附者の何名かは毎月数千円をクレジットカードで継続して寄附していただいております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



左から) ベース：鈴木、ドラム：興儀、ボーカル：大宜見、ギター：佐久真、キーボ：稲嶺



マース (ロックバンド)

**Everybody Wants to Rule the World、Every Breath You Take
ワインレッドの心、青春の影、東京フギフギ**

「マース」は琉大事務職員の男女6人からなるロックバンドですが、今回は、キーボードを稲嶺さんが応援します。パワーあふれる、元気いっぱいな歌と演奏を披露し、参加者の皆さまも、あふれる手拍子で、一緒に楽しみました。



左から) ギター・サク ス:城間、 リコーダー:我那覇 チェロ:宮城 キーボード:稲嶺
ベテラン職員「ぎ・ジムナー」グループの中から同志の3人ユニット「き・ジムナー」の演奏です。「癒し系バンド」としてふさわしい心穏やかに、そして心とおよむような曲を披露しました。「き・ジムナー」の由来は、沖縄の木の精「キジムナー」とも、多少重なりますが、「き」は、「演奏する機会」を通して、喜び、希望を与えられるよう、グループも、常にチャレンジし、進化していきたい。」という思いを 込めた名前です。 ※「機会」「喜び」「希望」の「き」です。



き・ジムナー（癒しバンド）

糸、イラヨイ月夜浜、ムーンリバー、ジュピター、美女と野牛、芭蕉布



主催：琉球大学職員有志一同

共催：一般財団法人 徳明会、琉大病院介護支援ボランティアの活動支援プロジェクト